令和５年３月

杉並区立富士見丘中学校 学校運営協議会だより

第14号

地域と共につくる学校 **地域運営学校（Community School）**です

コミュニティ・スクールとは　～学校運営協議会制度を導入している学校です～

平成２３年４月から導入

学校運営協議会の役割

（1）校長が作成する学校運営に関する基本的な方針の承認を行う。
（2）学校運営に関し、教育委員会又は校長に意見を述べる。
（3）学校の教職員の任用に関し、任命権者に意見を述べる。

生徒会役員生徒と面談の様子

令和4年度 学校運営協議会委員紹介

「地域運営学校として」

学校運営協議会会長　長　俊介

特定非営利活動法人
日本スクールソーシャルワーク協会前会長

これまで私は、罪を犯してしまった子どもへのサポートとして、警察・裁判所への付き添いや、調査官もしくは裁判官に対する子どもの援助者としての意見表明、不登校やひきこもりになってしまった子どもと、その家族または学校との間に入っての関係調整、家庭内暴力の子どもと家族との関係の援助などを、４０年ほど行なってきました。そのような活動の中、学校の外から学校の制度疲労を訴えていた私が、この制度の中で活動して感じたことをお伝えしたいと思います。

この協議会には保護者や地域住民の方々が参加し、合議制のもと一定の権限をもち、教育委員会や校長と責任を分担して学校に関わります。この制度により、地域に開かれた学校づくりがおこなわれることを目指しています。運営協議会に指定される以前、学校評議員が置かれていました。評議員は校長の求めに応じてアドバイスをするのが役割です。そこから発展して、生徒や保護者、先生にも意見を聞きアドバイスに反映したいと、学校評議員会が主宰する形で平成１６（2004）年からアンケート調査を取り入れてきました。調査開始から１８年を超えて現在も継続中です。年に１回実施するこの生徒・保護者・教員に対するアンケート「学校生活に対する意識調査」の調査結果からは生徒の様子が伝わってきます。１年生から２年生、３年生と学年が上がるにつれての成長や課題も感じ取ることができます。課題が大きければその都度、校長や先生たちと善後策を練り、その効果を見守ってきました。地域の人々は運営協議会委員に参加することによって、学校に対する責任感も増し、入学式、運動会、合唱コンクール、学芸発表会、授業参観、卒業式などの行事にも積極的に参加することで、学校の現状をしっかり把握しようと努力をします。さらに協議会の委員は管理職である校長の良きアドバイザーにもなりえます。学校の中での校長の立場はとても強いものではありますが、責任も重くなかなか相談する相手も無く、教育委員会という存在はありますが、一国一城の主として孤独な存在だ、と評議委員の時代から強く感じていました。

もともとは地域の核であった学校。それがいつの間にか、塀に囲まれて地元の人たちからは物理的にも精神的にも遠い存在になってしまった学校。その学校を再び地域に戻そうとする活動が学校運営協議会制度だと思います。大震災のあった東北地方、学校運営協議会を設置していた学校はそれほど多くはなかったようですが、避難所の開設や運営など、素早く立ち上がったのは協議会設置校だと聞いています。お互い顔と名前のわかる相手が学校の中と外にいるということ、学校教職員と地域住民が一部でも協働していることで可能になったことだと思います。

学齢期の子どもが困難に直面し動けなくなったとき、一緒に共有することで痛みを分けることができる親は、共有し子どもに力を蓄えさせて欲しい。でも困難を解決するには、一緒に苦しむのではなく、その苦しさに共感して外側から手を差し伸べることができる人が必要です。学校からこぼれた子どもたちは、私たちのような相談者が必ず拾い上げます。だから学校に通える子どもたちは、先生が教え育み支えて欲しい。学校や先生が、子どもたちの抱えている困難をすべて解決することは、不可能だと思います。また地域や親だけで解決することも不可能だと思います。それぞれがお互いを信頼し、繋がっていくことで、見えてくるものがあるのでは、と思います。そのためにもこの制度をもっと活用していければと思っています。

一年間の活動

- 運営協議会会議（月１～２回）
- 運営協議会の年間活動計画の協議
- 「学校生活に対する意識調査」実施
- 教員任用・次年度管理職人事についての意見書の提出
- 翌年度の教育課程の承認
- 「学校生活に対する意識調査」の結果評価・報告

- 委員研修会参加
- 新任教員との面談
- 各分掌、各学年主任との面談
- PTA 役員との面談
- 生徒会役員生徒との面談
- 管理職との面談

質問：中学生の時の宝物と今の宝物を教えてください

渋谷　正宏

学校長

中学の時の宝物は思い出せません。良い思い出しかなく、それが教師になった理由だと思います。
今の宝物は「時間」です。還暦を迎えて、今、この瞬間がかけがえのない宝物といえるように感じていたいと思っています。

矢吹　正徳

公益財団法人
理想教育財団理事

中学は男子校。私も含めデリカシーのデの字もない友人らから離れ、一人で過ごせる読書時間が宝物というよりは、自分自身と対話できる大切な時間でした。
老いた今も読書によって自問する貴重な時間を過ごしています。

遠藤　雅晴

社会福祉法人浴風会参与

中学の時の宝物：中２の夏にローマで買ったカメオのブローチ。好きな女子にプレゼントしたかったが結局できなかった。
今の宝物：ノーベル文学賞作家、大江健三郎氏直筆の色紙。それを見るたびに励まされる。

宮原　弘美

学校支援本部 JOINT 本部長

今も昔も「宝物」は家族です。特に家族の一員である犬猫が最高の宝物。
中学時代は当時一緒に過ごしていた犬が、現在は３歳になる２匹の保護猫が私の宝物です。

厳樫　敦子

学校支援本部
少年補導員

私の中学校の時の宝物は、おこづかいを貯めて買ったビートルズの赤ジャケットと青ジャケットです。２枚組で当時 4000 円でした。今の宝物は昨年公開された GET BACK の公式写真集です。やっぱりビートルズはいいなぁ

平田　敬子

富士見丘小学校
　学校運営協議会委員
富士見丘小学校学校
　支援本部事務局長
　コーディネーター
民生委員・児童委員

中学１年生の２学期で転校した学校が、その後の自分に大きな影響を与えた。定期考査がなかった。生徒の自主性を尊重してくれた。先生が紹介する本をたくさん読んだ。生徒同士で活発に話合いをした。あの時間が今でも宝物。

越沼　晴枝

元高井戸小学校
　学校支援本部本部長

ソフトボールをしていた中学生の時は、グローブとスパイクが宝物でした。練習が終わると必ず磨いて大切にしていました。
今は、今まで出会った方々と一緒に過ごした時間が宝物です。家族と孫二人も大切な宝物です。

岡田　美津江

青少年委員
学校支援本部
久我山小学校
　学校運営協議会委員

中学の時の宝物は、小学校からの友人であるバスケットボール部の仲間です。
今の宝物は、５０数年生きてきて、知り合った人からの言葉です。何かあった時に思い出しては勇気づけられています。

小作　力雄

ライオンズクラブ国際協会
東京渋谷ライオンズクラブ
薬物乱用防止教育講師

中学の時、陸上の大会で全国一位になったことが宝物です。

毒島　さつき

青少年委員
学校支援本部

中学の時の宝物は、画材です。おこづかいをやりくりして一本ずつ買い集めた水性ペン、折れていて半額だったパステル、中学生にはかなり高価だった手書き文字フォント集など。
今の宝物は、平沢進の音楽に出会えたこと。もう大人なので、CD や DVD を大人買い。

竹内　実園

PTA 会長

中学の時の宝物：
吉川晃司のサインと footloose の OST
今の宝物：
家族と友人とジョンウ姫

阿部　真子

副校長（事務局）

中学の時の宝物：AriaPro II のエレキベースギター。毎日、学校やスタジオに連れていって練習していました。
今の宝物：祖母の形見の指輪。サイズが合わなくなって取れやすくなり、ストッパーの指輪をするたびに数が増えます。

CSについてくわしく教えてください！

『CSって何?』

『聞いたことはあるけれど、誰が何をしているのかわからない…』
在校生保護者の方に、その存在が浸透しているとは言い難いCS。
PTA運営委員会で、CSについて疑問に思うことをあげていただきました。

Q. ＣＳとＪＯＩＮＴが同じだと思っていました。どう違うのでしょうか？
A. ＣＳは、学校運営協議会設置校のことです。地域に開かれ、信頼される学校づくりを目指して、保護者や地域の方々の力や考えを取り入れるべく設置されています。学校運営に関与し、学校のアドバイザー役といえます。
一方ＪＯＩＮＴは、富士見丘中学校の学校支援本部の愛称です。学校支援本部は地域のボランティアによる学校のサポーターです。両者がそれぞれの役割で連携することで、きめ細かな学校支援ができると考えています。

Q. ＣＳという名前がわかりにくいです。日本語の方がいいのでは？
A. 学校運営協議会制度を導入している学校を、コミュニティースクールと称します。ＣＳはその略称なので、学校運営協議会＝ＣＳではないのですが、学校運営協議会は長い名称なので便宜的にＣＳと呼ばれています。

Q. ＣＳには誰が入れるのですか？任期はあるのですか？
A. 校長のほか、学識経験者、校長推薦、公募の計１２人以内で構成されます。委員の任期は２年、再任の回数には制限があります。

Q. 主な活動は何ですか？
A. 学校運営に関する基本的な方針（教育課程の編成など）の承認を行うとともに、学校運営について校長や教育委員会に対して意見を述べることもできます。また、教職員の任用に関する意見を、教育委員会に提出することも可能です。

Q. 協議の内容を知りたいです。
A. 月に１回会議を開き、学校運営に関して話し合いをしています。そこで生徒や保護者、教員との懇談も行います。年に１回独自アンケートも行っていますので、ご協力をお願いします。

Q. 保護者や生徒の意見は反映されるのでしょうか？
A. ＰＴＡや生徒会との話し合い、アンケートの結果や自由記述の内容に関しては校長を除いた委員で話し合われ、意見書に取りまとめて学校および教育委員会に提出しています。

学校運営協議会の議事録・過去の学校運営協議会だよりは、学校のホームページから見ることができます。会議の傍聴も可能なので、ご希望の方は副校長までお申し出ください。

発　行：杉並区立富士見丘中学校　学校運営協議会
連絡先：〒168-0082 杉並区久我山2−20−1　TEL.03−3333−8928